

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所と
国立大学法人東京大学物性研究所との
中性子科学の推進に関する研究協力協定

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）物質構造科学研究所（以下「甲」という。）と国立大学法人東京大学物性研究所（ISSP）（以下「乙」という。）は、パルス中性子源や原子炉中性子源を利用した中性子科学を協力して推進するため、以下の事項に関し協定を締結する。

1. 甲及び乙は、パルス中性子源や原子炉中性子源を利用した物質構造研究を推進するため、より緊密な協力関係を構築する。
2. 甲及び乙は、パルス中性子源を利用した物質構造研究の発展を期して、チョッパー分光器等の開発、並びに新しいサイエンスや技術の創成を目指した共同研究を推進する。
3. 甲及び乙は、原子炉中性子源を利用した物質構造研究の発展を期して、新しいサイエンスや技術の創成を目指した共同研究を推進する。
4. 甲及び乙は、上記の目的を達成するために、両者の合意に基づき、「KEK/ISSP 中性子実験共同研究グループ」を置く。
5. 本協定の有効期間は、締結の日から平成28年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の3か月前までに双方若しくは一方から解除の申し出がない場合は、1年毎に延長するものとする。
6. 本協定書の解釈に疑義を生じた場合若しくは本協定書に定めのない事項が生じた場合は、甲及び乙は協議するものとする。

以上を証するため、本協定書を2通作成し、甲及び乙はそれぞれ押印の上、各一通を保管する。

平成23年4月1日

甲
大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長
下村 理



乙
国立大学法人
東京大学
物性研究所長
家泰 弘

